

第25回犯罪被害者支援京都フォーラムを開催 ～社会全体で被害者を支えるために～

令和 6 年 11 月 17 日、「第 25 回犯罪被害者支援京都フォーラム」（京都犯罪被害者支援センター、京都市共催・京都府、京都府警察本部、京都弁護士会、京都府犯罪被害者支援連絡協議会後援）を京都市下京区のキャンパスプラザ京都で開催しました。参加者は 141 名でした。1 部は「想いと願い」という演題で、京都アニメーション放火殺人事件ご遺族の渡邊達子氏、渡邊勇氏に講演いただきました。2 部は、お 2 人と当センター理事である吉田誠司弁護士との間で対談を行いました。

講演

「想いと願い」

講師：渡邊 達子氏・渡邊 勇氏
京都アニメーション放火殺人事件ご遺族

(敬称略)

渡邊 達子 … あの日は暑かったんです。朝から紫陽花の剪定を始めて大汗をかいてシャワーを浴びて「やれやれ」と思っていた時に、この人（勇さん）のお嫁さんが飛び込んできたんです。「お母さん、テレビで京アニが燃えていると言っている」と。そこからが、ぐちゃぐちゃの始まりでした。この人も仕事に行っていて、私の夫も高速道路を車で走行中なので連絡することは控えました。目的地に着いてから連絡をしようと。

もう我慢ができなくて「京都に行きたい」と家族ラインに書きこんだところ、上の娘が「お母さん 1 人で行かせるわけにいかん。1 人では危険や。とりあえず家で待っていて。私もいっしょに行くから」と。2 人とも運転するんですが、動転していましたので電車で京都まで来ました。

「現場に行っても大変そうやし、邪魔になるだけやから、どこへ行こうか」と相談して本社に行きました。本社の前ではマスコミの方がカメラを立てておられました。それをかき分けて本社の入口まで行ってトントンと叩いて「美希子の姉と母ですが」というと「開けます」と言ってすぐに開けてくださいました。ドアが開いてすぐ、泣いている声が聞こえて、その方が「お姉さんとお母さんが来られた」と声かけをされた途端、シーンと静まり返ったんですね。その反応で「これ、ヤバイのではなからうか」と。「とりあえず上の階で待っていてください」と言われて。

階下では消防の方と警察の方が出入りされているのが雰囲気わかりました。しばらくして入院している人の中に美希子さんの名前はないと言われました。とりあえず会社がとってくれたホテルへ移動しました。

夫とも連絡がとれて真夜中近くに京都まで戻ってきてくれて 3 人いっしょになりました。次の日の朝方、「DNA 鑑定をしにきてください」と連絡をいただいて鑑定に行きました。それが終わってから、お姉ちゃんは美希子が飼っていた保護猫 2 匹の面倒を見るために京都に残り、私と夫は家に戻り、猫たちを引き取る段取りをしました。

「鑑定の結果が出た」と連絡をもらったのは一週間くらいたってからだと思います。お姉ちゃんとこの人と私と夫の 4 人で会いに行きました。「顔を見ない方がいいと思いますよ」と言っていたいたんですけども、4 人で会いました。夫が最初に「骨格が美希子だ」と言いました。私は「隠そう」と思いました。人さまに「美希子は、こんなにかわいいでしょう」と言えるような状況では、とてもじゃないけどなかったの、ずっと隠さないといけないと思いました。お葬式が終わったら、そういう感情から解放されるのかなと思ったんですけど、今でも思い出すと「隠さないといかん」と思ってしまいます。もう、しょうがないですね。

「しょうがない」と思えるようになったのはカウンセリングのおかげだと思っています。



「実名報道されますか？」と連絡をいただいた時、夫が「美希子は悪いこと何もしてへんに隠すことはない」と言ったので「いいですよ、名前を公表して」とお伝えしたんですが、住所はわからないはずなのに、なぜかいろいろな新聞社の方々が我が家に来るようになりました。5年前、そして5年目の時も、一週間、報道局の名前でカレンダーが埋まったりという状況で、あの時は体力的にきつかったですね。

私の母が認知症やった時に私がメニエール病を発病し、そっちが弱いというのは自分でもわかっていたので、念のため頓服をカバンの中に入れていました。美希子のことがあって電車に乗っている時から耳鳴りが始まったので「これはそっちに出るかな」と思い、時々頓服を飲んで誤魔化していました。その時にマスコミの方たちが来られて会うなり、「思ったより元気そうですね」と言われたのです。被害者の家に行ってピンポンを鳴らして、第一声が「元気そうですね」というのは「この子はどんな精神なんや」と思いました。

今現在は、体調的には100%まともというウソになりますが、それなりにそれなりにです。「カウンセリングを受けますか？」と、鑑定の時に聞かれて「お願いします」と言ったんだと思います。はっきり覚えていないんですが、滋賀県警から来てくださるようになりました。今も続けています。

その後は猫たちを実家につれて帰り、あの子の部屋の整理をして。そしたらあの子が乗っていた自転車が探せど探せど、よう見つけなかったんです。駅前交番に行ったら「ゴミになるのは辛いから、この鍵に合う自転車があったらゴミになる前にどなたかに差し上げてくださるとうれいす」と鍵を置いて、美希子の部屋に戻って1時間くらいしたら自転車を届けにきてくださったんです。「お巡りさんはすごいな」と思いましたね。暑い日だったので汗をかきかき、交番に戻っていかれるのを「すみませんでした」と見送りました。今も、その自転車は我が家の玄関にあります。

その後、美希子のもので、焼けてなかったものが届きました。腕時計もパッと見ると煤がついてないかのようにきれいでしたが、よく見れば煤の跡があって「そこまでがんばってきれいにしてくださってありがたいな」と思いました。

猫たちを引き取って暮らしたら夫が猫に夢中になりました。あの人にとって猫がカウンセラーになっていたんだろうと思います。

いくら大人になっていたとはいえ、子どもが先に、あっちの世界にいくのはしんどいと思いましたね。想像を超えてしんどいということが実感でした。悲し

いだけでなく怒りの感情も湧くでしょう。その感情の先にあるのは何なんだろうと思います。「ストレス過多でめまいが止まらない、吐き気が止まらない」と一般にいわれるような症状以外の症状も出てくるだろうなど。知識としてそういうことが出る可能性はわかっていたので、「ああ、これか」という思いがありました。今でも火事とか車が燃えているニュースは辛いです。その後の、その家族が無事であるようにと願ってしまいます。

私が、こういう話をするようになった理由は、子たちにかかわる仕事を、美希子が小学生になるちょっと前から事件が起こる1年前ぐらいまでしていたからです。忘れられない出来事がいくつかあります。親が逮捕された時の子ども。自傷行為をする子ども。親の離婚で悲しんでいる子ども。隣の家の音のせいで、ほぼ寝られない状態にいる子ども。性行為についてとんでもない発言をする未成年。忘れられない、あるお母さんの言葉があります。それは「今、辛いな」と思っている人に届けてあげたい言葉です。「生きているだけで丸儲け」と、そのお母さんはおっしゃいました。「生きているだけで丸儲け」なんです。

幼い子どもたちは親だけでなく、近所の方たちだけでなく、お巡りさんとか消防署の方とか、そういう人たちに守られていると実感しながら生活していったほしいな、育ってほしいなと思っています。困った時に「どうしたんや？」といわれた時、「うるせえ」と言うんじゃなくて、誰かが手を差し伸べていたら、ちゃんとその手を受け取れる子どもとして育ってほしい。大人になっても、その感性だけは、なくさないでほしいと思っています。

「世の中、誰もが自信をもって生きられる社会があって、精神的に強くて、優しい人が多くいてほしい」と思っています。誰もが生きやすい世の中は社会や政治がつくるものだと思います。

若い人たちに期待します。どれだけいい組織があっても、それを動かすのは我々人間なので、あたたかい空気感がないと、どれだけいい組織をつくったとしても機能しなくなると思います。

渡邊 勇 … 母と私は被害者として同じ経験をしているんですが、それぞれの状況や感じたこと、出た症状が違うということを知っていただくことも含めて2人で話をさせていただいています。

あの事件があった時、私は仕事中心でして、グループラインで「美希子の職場が燃えている」と文字情報を見たんです。その時は「ボヤ騒ぎが起きたのかな」く



らしい感覚だったんです。時間が経つにつれて規模が違うし「どうなんだ」と思い始めて、根拠はないんですが「うちの身内にそんなことが起こるはずがない」みたいな感覚で最初は見っていました。

私の妻が当時、身重やったことと、1歳の子どもがいる状態だったので私自身は滋賀の家で待つ形になって母と妹が京都へ行くことになりました。自分は現地に行って何ができるか、祈るしかない状態になっていました。待って、待って、結局、もらった連絡は一番望まない結果の情報でした。その時にすごく複雑というか、自分でも感じたことがない感情になって、彼女がアニメーションの世界にいったのは、僕もアニメとかマンガとかゲームが好きで人間だったので「それが影響を与えてしまったのではないだろうか。自分が代わるものなら代わりたい」とか、自分を責めるような考えが出てしまいました。「自分よりも彼女の方が価値あるのに、なんでや」みたいな、いろんな感情です。

妹は身内ながらいい子なんです。僕は滋賀県に半年くらい前にUターンの形で帰ってきた時だったんです。それまでは大阪で仕事をしていて1歳の子ができたので、生まれた土地で子どもを育てたいということもあって帰ってきて、母と父と隣同士の家に住む状態の時でした。帰った時、兄妹のラインで「兄さんと奥さんが近くにいてくれて母は安心できたのではないかと思います。ありがとう。私は仕事ばかりに集中していて、今ある環境に感謝しきりです。何か困りごとがあったら力になれるよう、がんばるからね」と伝えてくれました。

それが「なんで、こんなことになるんや」と、すぐ感じました。今でも事件後、彼女と対面した時の姿が夢に出てきたりします。それとまた別に1歳の子どもに離乳食を与えてくれている姿とか、結婚式でブーケを受け取った姿とかを思い出すんですね。時々、どうしても出てきます。今でも苦しい感覚になります。

それで事件当初は、僕が長男ということもあり、妻も身重で1歳の子どももいるし、「自分がしっかりしなければならぬ。凍としなければならぬ」と思いました。最初の時、「カウンセリングを受けませんか?」と言ってくれたんですけど、僕は最初断っています。自分が精神的にちょっとやられている可能性があるなとは思ったんですけど、それを認めたくなかったんですね。「崩れてしまうのではないだろうか」と。そういう状態になったら仕事先に迷惑をかける可能性もあるのではないかと、カウンセリングを断る選択をしました。実はその後に、コロナウイルスの蔓延がありました。その時に熱を計る。37℃くらいをずっと超えて



いる状態になっていた。ものすごく怖かったです。

CTをとったり、内科に診てもらっても原因がわからなくて、最終的に精神科で「精神的なショックを受けて自律精神がおかしくなり、体温が上がることもある」といわれました。鬱のような状態になっていた。人間って不思議なもので、その話を聞いたら熱が収まったんですね。自分がおかしくなっていることを認めた瞬間に、それに反応して収まった。その経験を踏まえて「心が体に与えてしまう影響というのは結構、大きいんだな」と実体験として感じています。

犯罪被害者にかかわる人をお願いしたいのは、最初、カウンセリングとか、支援の手を伸ばしてくれるんですけど、ちょっと事情があるとか自分の都合で断ってしまう方もいらっしゃるのではないかと思います。可能であれば、もう一声、タイミングを見て声をかけていただけると救われる方がいるのではないかと。

その後、裁判がありました。裁判が自分自身で想像していたものとは全く違うレベルでしんどかったですね。今まで彼は自分の中の「想像の人」でしかなかったんですが、彼の言動や立ち居振る舞いを見た時、正直「なんでや?」と、今まで想像していなかった感情が噴出することがありました。母と父と妹と4人で「被害者参加制度」で参加させていただいたので、控室で愚痴を言いあったり、「なんやねん」とやりとりをしたのが救いやったと思っています。他の人が1人で聞いておられたりすると、「僕やったら、また潰れるのではないかと」思います。裁判所への付き添いやカウンセラーさんとか、そういう支援をしていただいているのは、すごくありがたいことだし、必要なことではないかと思っています。

「今の環境についてどうか?」と弁護人が彼に尋ねた時、「今の環境には感謝しかない。今の環境があったら、こんな事件は起こさなかった」みたいな趣旨の発言をされました。それを聞いた時、すごく苦しかったです。「そんなら最初から、そんなことをせ



んといてくれ」と思いましたし、拘置所にて罪を償う場所なのに『そっちの方が幸せです』と言っているのかと。

「加害者を生まない社会って、なんなんだろうな」と考えさせられる部分があるなと思いました。

次に「願い」のところを話させていただきます。

僕は「僕の周り、家族とか、仲間の人たちが幸せだったらいい」と考えるような人間でした。遠いところのことは、あまり考えていなかった。しかし、この事件が起こった時、「それだけではダメなのかもしれない」と思いました。なぜなら亡くなった彼ら彼女たちは、彼に対して直接何もしていない。それが全く遠いところから急に、ああいうことが実際に起こることがあると考えた時、「自分と自分の周りだけでなく、社会とか広い目線を持つべきだし、考えるべきだろうな」と感じました。それは母が最後に言っていたことと通じる部分もあるのかなと思っています。

こういうことは、「社会のルール、政治、経済、教育の部分や倫理観、空気感、いろんなものにかかわるのではないか」。「目の前の見える範囲だけでなく、自分勝手なことだけで済ますのではなく、ちゃんと周りに気を配れる人間をより広げたり気付いていくこと」「こ

ういうことがありうるから、ちゃんとやっていこうね」と言い合えること」は大事なのではないかと考えています。そういう社会をつくるのための一助を、皆さんにもお力をいただけたらありがたいなと考えてます。

個人的な話ですが、子供が生まれました。予定日は違ったんですが、不思議と亡くなった美希子と同じ誕生日に生まれ干支まで同じです。「すごい確率で生まれてくるな。何かのメッセージかな」と感じました。美希子からというよりは、子どもから「お父ちゃん、ちゃんとした生き方をして」というメッセージかなと。

加害者や被害者を生まないことに通じる考えやコミュニケーションをとっていただきその可能性を広げていただければと思っています。

また「被害者支援」という存在があることもみんなに知っていただきたいと思っています。

110番や119番は知っていると思いますが、「こういう支援があるんだよ」と知っていただければ、知らないと救えない部分があると思うので。それを助けていただけたらうれしいなと思います。

今日はこういう形で私からの講演を終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

対 談

渡邊 達子氏・渡邊 勇氏

吉田 誠司氏（弁護士、公益社団法人京都犯罪被害者支援センター理事）

（敬称略）

吉田 … お母さまからは当日の様子から語っていただきました。明確に覚えていることと、どこか記憶が飛んでしまっていることがあるのでしょうか？

渡邊 達子 … 後から聞かれて「そんなことあった？」ということがものすごくたくさんあります。会社の方から「説明会の時の旅費請求をしてほしい」と依頼があったときに、いろいろなことを思い出しました。

吉田 … 勇さんは、急に起きたこの事件に対して、当時どんな責任感をお感じになっておられましたか？

渡邊 勇 … あの時母や父や家族ということもありましたし、妻のおなか大きい状態で、「責任感」というか、「僕が崩れたらだめだ」という感じですね。

吉田 … 事件は被害者に準備を与えてくれないというか、身重とか、仕事があったりとかも全く無視して急に降りかかってくる。そんな中で気づかないうちに精神的にやられていくようなこともあった。自分は「人

に相談したり、カウンセリングを受けたりする必要がない。したくない」という思いを語られましたが、もう少し、そのあたりのリアルな感覚を聞かせていただいていたいいですか？

渡邊 勇 … そうですね。まずやっぱり出てくるのが「自分の責任じゃないか」と思ったり、相手を責めているんですけど、わからないところがあったりする。誰かに相談しようとしても、「その言葉や態度で、相手をしんどくさせてしまうのではないか」というイメージが出てくるので言えない。それで相談もできない。頭がぐるぐる回ってその姿も見せたくないという感覚に陥っていたような自分がいました。

吉田 … 勇さんは一度、カウンセリングを断った後に諦めないで「もう少し、時間がたってから、もう一度言ってくれた方がいい」と言われましたが。

渡邊 勇 … 事件が起こった時はパニックになってい



ます。時間が経ってから声をかけるのも難しいと思いますが、こういう事例があったとか体に不調があればとか、そういう理由づけでもいいので、言っていたらいいのかなと思います。

吉田 … 実際、カウンセリングを受けてみられて、どういふところが変わりましたか？

渡邊 達子 … カウンセリングの間に、自分でも思いがけなく言ってしまった言葉の中に「あれ、私、こんなことを言っている。こんなことを考えていたんだ」と知らせてもらえた。実は何回目かのカウンセリングの時、美希子との会話をふいに思い出したんです。

娘に「あなたは可愛いから、道で襲われるかもしれへんし、心配やから部屋に戻ったらワンコールして」と言っていたんです。娘からは「もう、親バカにもほどがある。ちゃんと見なさい。襲われそうな顔に見えるの?」と言われたんですけど親バカなので。その時「しゃあないな、お母さんは」と言われたことを思い出したんですね。ぐちゃぐちゃになっている自分をあの時と同じように「お母さんやから、しゃあないな」と言っているなど。そう思った途端、「いいか、ぐちゃぐちゃで」と思ったんです。

吉田 … なるほど、必ずしも事件のことに関係ないお話が、カウンセリングで出てきて、そのことでいろいろ自分の中の整理が、少しついていくという感じですか。勇さんはいかがですか？

渡邊 勇 … 自分が思っていたことを言語として発することで認識することが、結構多かったなと感じています。「あ、俺、怒っているわ」とか、「正しくあるうとしていたけど、感情優位なんだな」とか、いろんなことを気づかせてもらったりしました。

吉田 … 裁判が始まってから他の遺族の方と「被告を見た時の感じ方が違う」とお話をされましたが？

渡邊 勇 … 僕が彼の発言やいろんなことを聞いて、ものすごく腹が立ち「攻撃的」になっているけど、他の人は、傷つけられるという「受動的」な方もおられたりする。「しんどいこと」は共通しているけれど、受け止め方は多様ではないかと思っています。

吉田 … お母さまのお話の中でお巡りさんが自転車を届けてくれた。返ってきた遺品がきれいに掃除されていたというお話がありました。そういう優しさ、温かさが支援には必要なんだろうなと。

渡邊 達子 … そう思います。ともかく、みなさん優

しかったと思います。

渡邊 勇 … 普段の仕事や社会生活の中で、みんな心がけていくのが「空気づくり」には大事なんだろうなと感じたところです。

吉田 … 「願い」ということの中で「加害者を生まない社会をどうやってつくつたらいいの?」「孤独にならない、一人ではないという感覚を社会全体がもつことは大切なことだ」と、なぜ思われるようになったのでしょうか？

渡邊 勇 … 「孤独」の定義は難しいと思いますが、彼は、いろんな手を差し伸べられていたが、それを断ち切っていたという情報もあったのでほんとに難しい問題だなと。「孤独感の解消」も1つの枠組みとして含まれているとは思っています。

吉田 … これまでお2人は日本中でご講演をなさっていますが、お話をされる中で「こういう、いいことがあったな」とかありましたら。

渡邊 達子 … 滋賀県で高校生にお話をさせてもらった後、感想文をいただいたんです。「実は僕はいじめっ子だ。今日の話聞いてもうやめる」と。いじめを自白してどうするのと思いましたが、うれしかったことの1つですね。

吉田 … 最後に、これから被害者を支援する人に向けて「こういうことをしてほしい」という願いがありましたら、一言ずついただいでいいですか？

渡邊 勇 … 支援は、すごく大変なお仕事だと思います。お願いとしては、まずご自身が潰れないでいただきたい。人を助けることは大事なことです。そのために自分が消耗していくこととは違うと思いますので、助けることができたことで自分が幸せになれる感覚でできるような。そのための体制や状況が大事なので支援者と組織をトータルでお願いできたらと思います。ほんとに僕らは救われています。ありがとうございます。

渡邊 達子 … 私は子どもたちに期待をしていきたいと思っています。辛いこともいっぱい経験しながら、それに潰されることなく大人になって、ちゃんと生活できる人たちが増えていってほしいなとずっと思っている。私の願いは子どもたちに託したいと思っています。

吉田 … 本日はありがとうございました。



26期 被害者支援者になって

今年度は、8名の方が10月1日より「被害者支援者」に認定されました。

みなさまそれぞれの思いを語っていただきました。

※「被害者支援者」とは、当センターで電話相談等を担当するための研修を修了された方です。

私は、大切な家族を犯罪被害で亡くしてから、暗いトンネルに入ってしまったような日々を送っていました。そんな時に多くの方々のおかげによって、私は今という時を迎えることができています。人は人によって支えられ、生きていくことが出来るのだと思います。私は、被害者の方やそのご家族が前を向いて歩まれるよう、お一人おひとりの歩みに寄り添い、お一人おひとりと共にある支援者でありたいと思っています。(M.I)

約一年の研修を終え、被害者支援者として、これからセンターの皆様と実際の現場で活動させて頂くことになり、犯罪や事故などによって被害を受けた方々が、その後の生活を取り戻す為に支援者は、心理的、法的、経済的、必要であろう支援機関の情報提供などの知識を持ち、状況によっては、日常生活の支援も行う等、幅広く対応していかなければならないと学びました。しかし、知識だけではなかなかすぐに支援者としてお役に立てないと思います。今後は、先輩支援者の皆様や、センターの職員の皆様と共に、実際の現場での相談業務や、支援活動をさらに学びながら、被害者の方が一人で悩まず、被害者の方の心に寄り添い、細く長く支援活動ができればと思っています。今後とも宜しくお願い致します。(C.O)

研修では、司法、行政、心理の面から被害者の方を取りまく現状と、支援者としての役割を学びました。また被害者の方のお話しを伺い、事件に遭遇したことにより、突然、被害者という立場になってしまうことの辛さや「しんどさ」を痛感しました。支援とは、被害者の方がその苦しみを乗り越え、次の目標へと歩まれるお手伝いをさせて頂くことだと思っています。これからは、皆様とご一緒に活動できることを願っております。(K.O)

私は「被害者支援者」として活動を始めてまだひと月ほどで、何度か入らせてもらいましたが、実際にまだ自身が電話相談を受けたことはなく、過去の記録などを読ませてもらっています。私に何ができるのか、続けられるのか、と不安になることもありますが、同期の皆さんや、事務局の方々のおかげで、自分なりにできることをしていこうという気持ちにさせてもらっています。研修を受け始めた頃から、今まであまり気に止めなかったニュースや社会の問題について考えることが増えました。少しずつ、学んでいきたいです。(Y.O)

私は被害者支援に携わる方から教えて頂き、当センターの支援活動を知りました。自分にこの活動が出来るのか、不安がありましたが、充実したカリキュラムで学ばせて頂く中で支援の重要性や一般市民が寄り添う意味を深く考えるようになり、被害者支援者として活動させて頂きたいという気持ちを強くしました。これからもご指導を頂きながら、よき支援者となれるよう努めたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。(Y.O)

38年間の警察官人生の内、退職前9年間は警察署の犯罪被害者支援担当者でした。警察が行う支援はあくまでも初期的なものであり、中・長期的な支援は関係機関・団体に引継いでいかなければならず、不完全燃焼のまま退職した思いが拭いきれませんでした。今後、支援者として何が出来るか、どこまで出来るかは未知数ではありますが、自分なりに完全燃焼を目指し虚心坦懐に支援業務に邁進したいと思っています。(Y.K)

「犯罪被害に遭われた方々の心理的ケアがしたい」という思いを胸に研修を受講させていただき、これまで様々なことを学ばせていただきました。電話相談では、掛けてこられる方々のお気持ちを想像しながら寄り添い、必要な支援を届けることを意識しています。しかし、まだまだ未熟なため、今後も研修等で学びを深めたり事務局の方々や先輩方にご指導いただいたりしながら成長していきたいと感じています。(A.T)

永年保護司として加害者に寄り添う側において、興味を感じた“被害者学”を1年間学んだ結果、真反対の被害者を支援する立場となりました。10カ月の種々の研修がまだ身につかない内に、実践の電話相談を経験し、未知の不安で一杯ですが、支援局、先輩、同期の皆さまのアドバイス、資料を助けに、支援を求められる方々に、一握りでも心の安らぎを与えられるよう努力をしていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。(M.M)



トピックス

■相楽郡笠置町と「犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定書」を締結しました。

8月20日、笠置町役場にて笠置町長・山本篤志様と山下理事長が締結式を行いました。京都府内における犯罪被害の現状と当センターの支援活動についての資料を確認された山本町長は、犯罪被害者支援の重要性を改めて感じたと、今後の連携協元に強い意欲を示してくださいました。

協力体制を確立した京都府内の市町村は12市町となりました。



■株式会社ファーストフーズ様（京都市南区）が、犯罪被害者支援活動を応援するプロジェクトを開始されました。

11月1日より、給食配送車に当センターの広報ステッカーを貼付していただくほか、京都府警察本部内の食堂とコンビニの売上の一部を毎年寄附してまいります。

実施に先駆け、10月31日に代表取締役・高橋聖宗様にご来所いただき、感謝状の贈呈とステッカーの貼付式を行いました。ご支援に厚く感謝いたします。



■犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギュっとちゃん」が寄附型和菓子になりました。

木津警察署様の働きかけにより、木津川市の老舗和菓子店・長盛堂様が「ギュっとちゃん」を模した練り切りを作ってくださいました。11月25日～12月1日の犯罪被害者週間に販売され、売上の一部を当センターに寄附していただきました。ご支援に厚く御礼申し上げます。

犯罪被害者支援京都フォーラムで紹介した際も、ご来場の皆様に「かわいい！」と大人気でした。



京都銀行様と遺贈・寄付等への協力に関する協定書を締結

令和6年12月11日、京都銀行様と「遺贈・寄付等への協力に関する協定」を締結しました。本協定の締結により、京都銀行様の遺贈遺言信託事業の寄付先として当センターを加えていただけることとなりました。

当センターの財政状況は大変厳しく現在収入増を図る為、多くの皆さまから支援をいただいておりますが、遺贈・寄付はその大きな手段の一つとして期待しているものです。遺贈・寄付をお考えの方がいらっしゃいましたら当センターまでご一報いただけたら幸いです。



犯罪被害者週間 にちなんで

11/25
~
12/1

犯罪被害者週間とは

平成17年12月に閣議決定された犯罪被害者等基本計画において、毎年、犯罪被害者等基本法の成立日である12月1日以前の1週間(11月25日から12月1日まで)が犯罪被害者週間と定められました。

犯罪被害者週間は、期間中の集中的な啓発事業等の実施を通じて、犯罪被害者等が置かれている状況や犯罪被害者等の名誉または生活の平穏への配慮の重要性等について、国民の理解を深めることを目的とするものです。

令和6年度は、第25回犯罪被害者支援京都フォーラム(P1~5参照)をはじめ次のような活動を京都府、京都府警察本部、京都市をはじめとする市町村と合同で行いました。

生命のメッセージ展 in 京都



令和6年11月24日(日)

・京都テルサ

令和6年12月1日(日)

・イオンモール京都桂川

令和6年12月3日(火)~5日(木)

・サンサ右京(右京区役所)1階区民ロビー

・木津川市役所 2階展示スペース

警察署・市役所と合同でパンフレット等の配布を行いました 広報活動



日時: 11月18日(月)

場所: 亀岡駅のどかめロード(亀岡市)



日時: 11月22日(金)

場所: イオン福知山店(福知山市)



日時: 11月23日(土)

場所: アグリセンター大宮(京丹後市)



日時: 11月29日(金)

場所: PLANT-3福知山店(福知山市)



犯罪被害者週間啓発パネル展

- ・令和6年11月12日（火）～11月14日（木） ゼスト御池（市役所前地下街）寺町広場
- ・令和6年11月18日（月）～11月22日（金） 伏見区役所ロビー
- ・令和6年11月25日（月）～11月29日（金） 京都市役所分庁舎1階ロビー

犯罪被害者週間以外の広報活動

朝から多くの来場者がありました。

良いお天気で、多くの家族連れに広報できました。

KBS京都 秋のOneday Special 2024

日 時：令和6年9月22日（日・祝）10：00～16：20
場 所：KBS ホール

府民交流フェスタ

日 時：令和6年11月3日（日・祝）10：00～16：00
場 所：京都府立植物園

〔 令和6年度 公開講座 〕

宇治市

日 時：令和6年11月28日（木）14：00～15：30
会 場：宇治市生涯学習センター
講 師：京都犯罪被害者支援センター 犯罪被害者の支援員

京田辺市

日 時：令和7年1月28日（火）13：30～15：00
会 場：京田辺市立社会福祉センター
講 師：京都犯罪被害者支援センター 犯罪被害者の支援員

犯罪被害者等施策市町村担当者研修会

12月12日に京都府庁3号館講堂にて今年度第2回「犯罪被害者等施策市町村担当者研修会」が開催されました。

京都府内全26市町村および全警察署の犯罪被害者支援担当員が一堂に介して、年2回毎年開催しています。ロールプレイングにて被害者の方に対する接し方を学んだり、最新情報の共有を図ることで、各々の組織・役割に基づいて犯罪被害者等の支援活動を活性化していくことを目的としています。

今回は、令和5年より京都府事業として開始された犯罪被害者支援におけるワンストップサービスの推進機構である「支援調整会議」をテーマに、2年間の実例を踏まえて市町村での対応を進めていくための情報共有を行いました。

また、11月25日～12月1日の犯罪被害者週間に合わせて、11月中に京都府内各地で開催された「広報啓発活動」を報告しました。従来の京都府・京都府警察本部・京都市・センターの協働活動に加え、今年度は市町村・警察署・センターの3者による「広報啓発活動」も増加しました。来年度の活動に活かしていきます。

ご支援に感謝いたします

〔ホンデリング〕

令和5年12月1日～令和6年11月30日

個 人 30名
事業所等 35団体
総 冊 数 13,599冊
寄付金額 583,534円





新規寄附型自動販売機

精華町「かしのき苑」様に 寄附型自動販売機が設置されました

精華町地域福祉センター「かしのき苑」様に交通安全啓発の寄附型自販機が設置され、7月24日に精華町杉浦町長、木津警察署西口署長ご列席の下、除幕式が行われました。



京都府施設として 初めて犯罪被害者支援寄附型自動販売機が設置されました

10月7日 京都府立堂本印象美術館（京都市）様 入口およびバス停留所 計2台

11月5日 サンガスタジアム（亀岡市）様 KIRInoKO/びばっこ保育園側入り口 1台



京都府様のご尽力により京都府関連施設としては初めて、犯罪被害者支援寄附型自動販売機が設置されました。

府民はもちろんのこと他府県民も多く来場される施設に、全面的にラッピングが施された自販機が設置されたことで犯罪被害者支援活動および相談電話の広報周知にも大変役に立つものと期待しています。是非ご利用ください。

交通安全啓発自動販売機

7月5日 西京運輸株式会社様（伏見区）に5月の東倉庫に続き、2台目が物流本部に設置されました。

9月2日 ダイセーエプリー二十四株式会社様 城陽ハブセンター（城陽市）に設置されました。

寄贈いただいた手作りグッズを募金のお礼に

支援に役立てて欲しいと、可愛い手作りビーズ飾りをたくさんいただきました。

これをイベント時の募金箱に寄附をいただいた方に、好きなものをひとつお持ち帰りいただけるようにしました。多くの方から募金をいただくことができました。ありがとうございます。





温かいご支援ありがとうございます

…… 令和6年6月～11月に新たに賛助会員(法人・団体)となられた皆様です ……
(順不同・敬称略)

●新法人賛助会員の皆様です

- ・ 京都府暴力追放運動推進センター
- ・ 医療法人啓信会 京都きづ川病院
- ・ イクタグループ株式会社
- ・ ジブラルタ生命保険株式会社京都支社
- ・ 株式会社 SCREEN ホールディングス
- ・ 株式会社ファーストフーズ
- ・ 日東精工株式会社
- ・ 伊根町

●新団体賛助会員の皆様です

- ・ 京都府舞鶴警察署
- ・ 下京防犯協会
- ・ 京都府警友会下鴨支部
- ・ 京都府城陽警察署
- ・ 城陽防犯協会
- ・ 京都府右京警察署 親仁会
- ・ 京都府下京警察署
- ・ 下京交通安全協会
- ・ 京都精神神経科診療所協会

…………… 令和6年6月～11月に寄附を頂戴した皆様です ……………
(順不同・敬称略)

寄 付 者

【個人】 14名

【団体】

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 金戒光明寺 | 有限会社サカエ塗装 | 株式会社ファーストフーズ |
| 乙訓防犯協会 | 京都府警察本部警務課 | 京都府亀岡警察署 |
| 京都府京丹後警察署 | 京都府城陽警察署 | 京都府南警察署 |
| 京都府向日町警察署 | | |

※はーとめーる 71 号寄附欄に「京都府京丹後警察署」様の名前が抜けておりました。お詫びして訂正いたします。

法人・団体賛助会員の皆様

(順不同・敬称略)

【法人賛助会員】

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社島津製作所 株式会社GSユアサ 月桂冠株式会社 日本電気化学株式会社 オムロン株式会社 京セラ株式会社 ニチコン株式会社 株式会社村田製作所 彌榮自動車株式会社 株式会社堀場製作所 株式会社マイ 日本新薬株式会社 株式会社ビー・エス・アイ・コーポレーション 株式会社松原興産 ワタキューセイモア株式会社 株式会社ティ・プラス 吉村建設工業株式会社 株式会社ミラノ工務店 若林設備工業株式会社 樋口鉱泉株式会社 五洋パッケージ株式会社 山代印刷株式会社 株式会社片岡製作所 村田機械株式会社 オーシャン貿易株式会社 三洋化成工業株式会社 株式会社日進製作所 | <p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社京都環境保全公社 ひとひらく株式会社 株式会社ライオン事務機 ヤチヨコアシステム株式会社 株式会社ユタカ 株式会社ITP 宝ホールディングス株式会社 日新電機株式会社 オムロンエキスパートリンク株式会社 京都駅ビル開発株式会社 近建ビル管理株式会社 株式会社万代 イクタグループ株式会社 株式会社ファーストフーズ 株式会社SCREENホールディングス ジブラルタ生命保険株式会社 日東精工株式会社 | <p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都市市長会 京都府町村会 亀岡市 八幡市 福知山市 木津川市 南丹市 精華町 舞鶴市 綾部市 長岡京市 宇治市 京田辺市 笠置町 与謝野町 伊根町 <p>学校法人</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校法人京都女子学園 学校法人京都精華大学 <p>宗教法人</p> <ul style="list-style-type: none"> 石清水八幡宮 本門佛立宗 宗務本庁 | <p>観光・サービス業</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル 京都八条 株式会社近鉄・都ホテルズ ウェスティン都ホテル京都 嵯峨野観光鉄道株式会社 株式会社ジェイアール西日本伊勢丹 <p>金融機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社京都銀行 京都中央信用金庫 京都信用金庫 大和証券株式会社 京都支店 <p>医療関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人京都府医師会 一般社団法人京都府臨床心理士会 洛和会音羽病院 一般社団法人京都府病院協会 一般社団法人京都市立病院協会 医療法人啓信会 京都きづ川病院 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社京都新聞ホールディングス 一般社団法人京都府トラック協会 一般社団法人京都府バス協会 京都司法書士会 一般社団法人京都自動車整備振興会 弁護士法人 中村利雄法律事務所 公益財団法人京都府暴力追放運動推進センター |
|--|---|--|--|



【団体賛助会員】

警察関係	警察関係	社会福祉関係	その他
京都府警察本部捜査第一課	舞鶴防犯協会	春日住民福祉協議会	京都府男女共同参画センター
京都府警察本部交通機動隊	福知山防犯協会	京田辺市社会福祉協議会	上京東部医師会
京都府警察本部 交通企画課親交会	山科防犯協会	社会福祉法人八幡市社会福祉協議会	京都経営者協会
京都府警察本部 捜査第四課親睦会	下鴨防犯協会	社会福祉法人井手町社会福祉協議会	四条繁栄会商店街振興組合
京都府京丹後警察署	京丹後防犯協会	社会福祉法人宇治田原町社会福祉協議会	京都府指定自動車教習所協会
京都府舞鶴警察署	綾部防犯協会	舞鶴東地区更生保護女性会	東山区シニアクラブ
京都府下京警察署	宮津防犯協会	舞鶴西地区更生保護女性会	東山料理飲食業組合
京都府城陽警察署	綴喜防犯協会	綴喜郡民生児童委員協議会	株式会社京都科学
京都府警友会	下京防犯協会	京田辺市民生児童委員協議会	株式会社ハヤシ不動産
京都府警友会 八幡支部	城陽防犯協会	京都精神保健福祉士協会	京都ミレニアムライオンズクラブ
京都府警友会 西京支部	下鴨暴力追放協議会	山科区保護司会	京都薫風ライオンズクラブ
京都府警友会 北支部	上京地域暴力対策協議会	相楽保護区保護司会	京都精神神経科診療所協会
京都府警友会 中京支部	全舞鶴交通安全協会		
京都府警友会 綾部支部	下鴨交通安全協会		
京都府警友会 下鴨支部	綾部交通安全協会		
京都府上京警察署 上京会	福知山交通安全協会		
京都府福知山警察署 互助会	右京交通安全協会		
京都府北警察署 SORA 北会	亀岡交通安全協会		
京都府右京警察署 親仁会	下京交通安全協会		

寄附型自動販売機を設置いただいている皆様

(順不同・敬称略)

【被害者支援自動販売機】

大森神社奉賛会	株式会社奥村組	オムロン株式会社
オムロンヘルスケア株式会社	株式会社霞月	カラオケ WOOPY
月桂冠株式会社	金戒光明寺	合同会社ビバ&サンガ
株式会社 GS ユアサ	株式会社島津製作所	宝酒造株式会社
京都府立堂本印象美術館	同志社香里中学校・高等学校	ニチコン株式会社
株式会社日進製作所	日新電機株式会社	株式会社阪急商業開発
北都開発株式会社	株式会社村田製作所	ユニチカ株式会社
吉忠株式会社	吉村建設工業株式会社	若林設備工業株式会社
ワコール株式会社		

【交通安全啓発自動販売機】

三洋化成工業株式会社	ユニチカスパークライト株式会社	株式会社ファーストフーズ
ワタキューセイモア株式会社	株式会社エフプロダクト	株式会社日本医学臨床検査研究所
帝産京都自動車労働組合	ナカライテスク株式会社	近建ビル管理株式会社
牛若商事株式会社	京都広域生コンクリート協同組合	学校法人京都府自動車学校
伏見稲荷大社	株式会社京都自動車会館	八幡市公園施設事業団きんめい近隣公園
株式会社 JPF 京都向日町競輪場	西京運輸株式会社	精華町地域福祉センターかしのき苑
ダイセイエプリー二十四株式会社		

※交通安全啓発自動販売機売上げの一部が、京都犯罪被害者支援センターに寄附されます。

お願い

当センターは、大変厳しい財政状況となっており、今年度は970万円の赤字となる見込です。犯罪被害者支援活動を今後も継続していくために、賛助金・寄附金の増加が必須の状況です。

新たに賛助会員となっただけの法人・団体様を募集しております。また寄附型自動販売機を設置いただけた方(法人・団体・個人を問いません)を募集しております。

皆様のお知り合いでご紹介いただける法人・団体・個人様がいらっしゃいましたら、事務局に是非ご連絡ください。(メール・電話どちらでも結構です)

ご紹介いただけた方へのご説明(当センターの紹介・会員加入/寄附型自動販売機のしくみや設置等の説明)は事務局からいたします。少しでも多くの皆様からご支援いただけるようお気軽にご紹介ください。

皆様のご協力をお願いいたします。

ホームページもご覧ください <https://kvsc.kyoto.jp/>

発行者 公益社団法人
京都犯罪被害者支援センター
理事長 山下俊幸

事務局 TEL&FAX 075-415-3008
E-mail k7830@kvsc.kyoto.jp
印刷 株式会社ティ・プラス

お願い：ご住所等、お届け内容に変更のあった方は、お手数ですが事務局までご一報くださいますようお願いいたします。